



Vol. 01

長英一郎氏

東日本税理士法人所長、医療経営士1級、医療経営指導士

実践研究講座

講師インタビュー

「実践研究講座」がスタート! 患者・利用者視点の 医療経営について伝えたい

医療経営士試験の合格者が1万5000人を超え、医療経営士は「量の拡大」から「質の向上」のフェーズへの移行が求められている。そうしたなかで株式会社日本医療企画では4月から、医療経営士の専門性を高めるための継続学習の場として、ヘルスケア経営学院「医療経営士実践研究講座」をスタートする。本コーナーでは、講座スタートを記念して講師を務める医療経営士にインタビューを行う。第1回は、「最新医療経営の情報分析と実践方法」を担当する東日本税理士法人所長で医療経営士1級、医療経営指導士の長英一郎さんに登場いただく。

講師となる医療経営士には 大きなチャンスに

4月からヘルスケア経営学院「医療経営士実践研究講座」がスタートします。どのように捉えておられますか。

本講座の多くのプログラムは医療経営士が講師を務めることが特徴ですが、講師となる医療経営士にとって、非常に大きなチャンスになると考えています。

私のところには「医療経営士1級を取得して、この後何を目指したら良いかわからない」「さらなるスキルアップの場がほしい」といった声が寄せられることがありますが、「人に教える」という経験は自らの知識を整理し確認し直すことにつながりますし、人にわかりやすく伝えるための訓練の場ともなります。また、自身の知識や経験を人に披露する機会を持つことは、モチベーションアップにもなると考えています。

本講座をきっかけにして、医療経営士のなかからさまざまなセミナーや講演にひっぱりだこになるような講師が出てくるとうれしいですね。「診療報酬なら〇〇さん」

「財務会計なら△△さん」と、医療界で有名になるスターの誕生を期待しています。それが医療経営士本人にとっても、医療界にとってもプラスになるのではないのでしょうか。

もちろん、受講する側にとっても大きな意義があると思っています。現在でも各地での研究会など継続して学んだり、医療経営士同士のネットワークをつくる場はありますが、より専門的な内容について学べるプログラムができることで、さらなるレベルアップが期待できます。

また、医療機関に所属している医療経営士が講師を務めているケースが多いので、現場の状況や実際の取り組みなどを踏まえ、「理論と実践」の両方を学ぶことができることも魅力だと考えます。

患者・利用者視点を持ち 自組織の経営改善に役立てる

長先生は同講座で、「最新医療経営の情報分析と実践手法」を担当されます。講座の内容や目的、重点的に学ぶ分野について教えてください。

私が担当する「最新医療経営の

情報分析と実践手法」は、病院や介護施設などでの取り組みの最新事例を学ぶことで、患者・利用者視点を持ちながら自組織の経営改善に役立てていくことを目的としています。

▽身体拘束をできるだけ行わないO病院、▽糖尿病患者への介入により人工透析を減らすS病院、▽幼児から高齢者までの語らいの場を提供するM病院、▽地域フォーミュラーを実践するN病院——など、私がこれまでに訪問・見学を行った病院・施設の取り組みを交えてお話しする予定です。

ですので、より幅広い実践事例を知っていただけたらと思います。

事例は最新のものに変更になる可能性がありますが、共通しているのは「患者・利用者の視点」です。診療報酬など目先の利益ありきではなく、患者・利用者の視点に立って良いことを実践し、それによって地域から信頼を得ている事例を通じて、患者視点の医療経営について伝えたいと考えています。医療経営士の皆さんに患者・利用者の視点を持っていただければうれしく思います。

さらに、私事ですが学研ホール

ディングス株主総会にて、社外監査役に就任することになりました。同ホールディングスは看護師向けのeラーニングやサービス付き高齢者向け住宅、グループホームなどの運営もしていますので、それらについてもお話ししたいと考えていますし、このほかAIや画像診断、ICTなど最新のトピックにも触れていきますので、ぜひ注目してください。

最後に、同講座への参加を検討している医療経営士にメッセージをお願いします。

さまざまな職種・業種の医療経営士に参加してもらいたいと考えています。この講座は一方的な講義だけではなく、グループディスカッションなどを交えて双方向の内容となりますので、視点が異なる人が集まることで議論がさらにおもしろくなっていくと期待しています。

私の現場体験に基づく学びをシェアし、それをもとにさまざまなアイデアや企画を行うことで、新たなアイデアや企画にもつながればと私も今から楽しみにしています。

——ありがとうございます。



おさ・えいいちろう ● 中央大学商学部卒業後、公認会計士の資格を取得し、東日本税理士法人に入職。現在、中央大学ビジネススクール講師も務める。著書に「なるほど、なっとく医療経営Q&A50」、「経営データの活用と金融機関との上手なつきあい方」(ともに日本医療企画)など。公認会計士、税理士、医療経営士1級、医療経営指導士、介護福祉経営士1級

本物の実践力を身に付け、病院経営を支える人財を育てる

2019年4月開講! 医療経営士実践研究講座

実践力が身に付く**3**つのポイント!

- ★医療経営の現場を熟知した医療経営士から学べる!
- ★短期間で実務能力をあげるカリキュラム!
- ★双方向型の効果的な授業スタイル!

※2019年2月より順次募集受付(予定)

長英一郎先生の担当講座はコレ

医療経営実践研究講座[総合経営コース]

「最新医療経営の情報分析と実践手法」

第1回日時: 2019年4月13日(土)14:00~17:00
お問い合わせ: ヘルスケア経営学院事務局(TEL: 03-3258-2798)